

9月25日 No.1364
-----2017年(平成29年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

週刊

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

第1面記事

汚染土施設も増強



増強した処理施設

造粒固化で国内最大級に

ハーモニックス

汚染土壌や無機性汚泥の処理などで実績を重ねるハーモニックス

(本社・大阪市、今村浩社長、☎06・4804・1350)は、事業拡充の一環として、今年3月の本社工場での固化施設(500ト/日)の許可取得を受け、汚泥の造粒固化事業が本格稼働に入った。同社尼崎工場(兵庫県尼崎市)と合わせ、造粒固化施設の処理能力(720ト/日)が1220ト/日となり、国内で最大級の規模となった。

また、高石工場(大阪府高石市)で進められていた汚染土壌の処理能力の増強が8月末に施設が完成し許可を取得した。許可取得後の処理能力が日量1710トとなり、尼崎工場の同872トと合わせ、1日の処理能力が2500ト超に上る。

高石工場は、環境省が推進する高度安定処理を可能とし、第一種改良土の製造ができる特長を持つ。造粒固化施設の処理能力は日量720トを有し、従来の造粒固化システムで課題となっていた再泥化を防ぎ、路床材や盛土などの土木資材として利用可能となっている。

同施設では、混練造粒機1台で「攪拌」混練「造粒」の三役をこなし、建設現場や生産工場、処理施設から発生する無機性汚泥を造粒固化処理により、強度アップなど図り、再泥化を防ぎリサイクル製品に加工する。

高石工場では、汚染土壌の処理能力をこれまでの1日当たり1210トから1710トまで増強し、尼崎工場の872トと同工場の処理能力を合わせれば、国内最大級の処理能力となる。受入可能な汚染土は、シアン化合物と水銀およびその化合物を除く、第二種特定有害物質濃度の上限はなしとなっている。

受け入れた汚染土壌は、磁選機で異物を除き1次・2次と洗浄分級。凝集沈殿させてフィルタープレスで脱水ケーキにする。脱水ケーキはセメント副原料として全量リサイクル。洗浄砂・レキなどは浄化確認後、建設(土木)資材として再利用する。

同社では、施設増強に伴い、汚染土壌の受入量の増加に対応できるように、一層の資源循環に取り組みることができるとしている。(関連記事5面)

増強した処理施設

増強した処理施設

増強した処理施設

増強した処理施設

増強した処理施設

9月25日 No.1364

-----2017年(平成29年)-----

週刊 月曜発行

発行人 河村 勝志

平成元年9月22日 第3種郵便物承認

購読料 年間 22,900円+税
(定価) 1部本体 495円+税

週刊

循環経済新聞

The Recycling Economy Times

第5面記事

モス
ハー
ニックス

岸壁完備で受入態勢強化

全国からの処理ニーズに対応

ハーモニックス(本社・大阪市、今村浩社長、☎06・4804・1350)は、本社工場(兵庫県尼崎市)で無機性汚泥の固

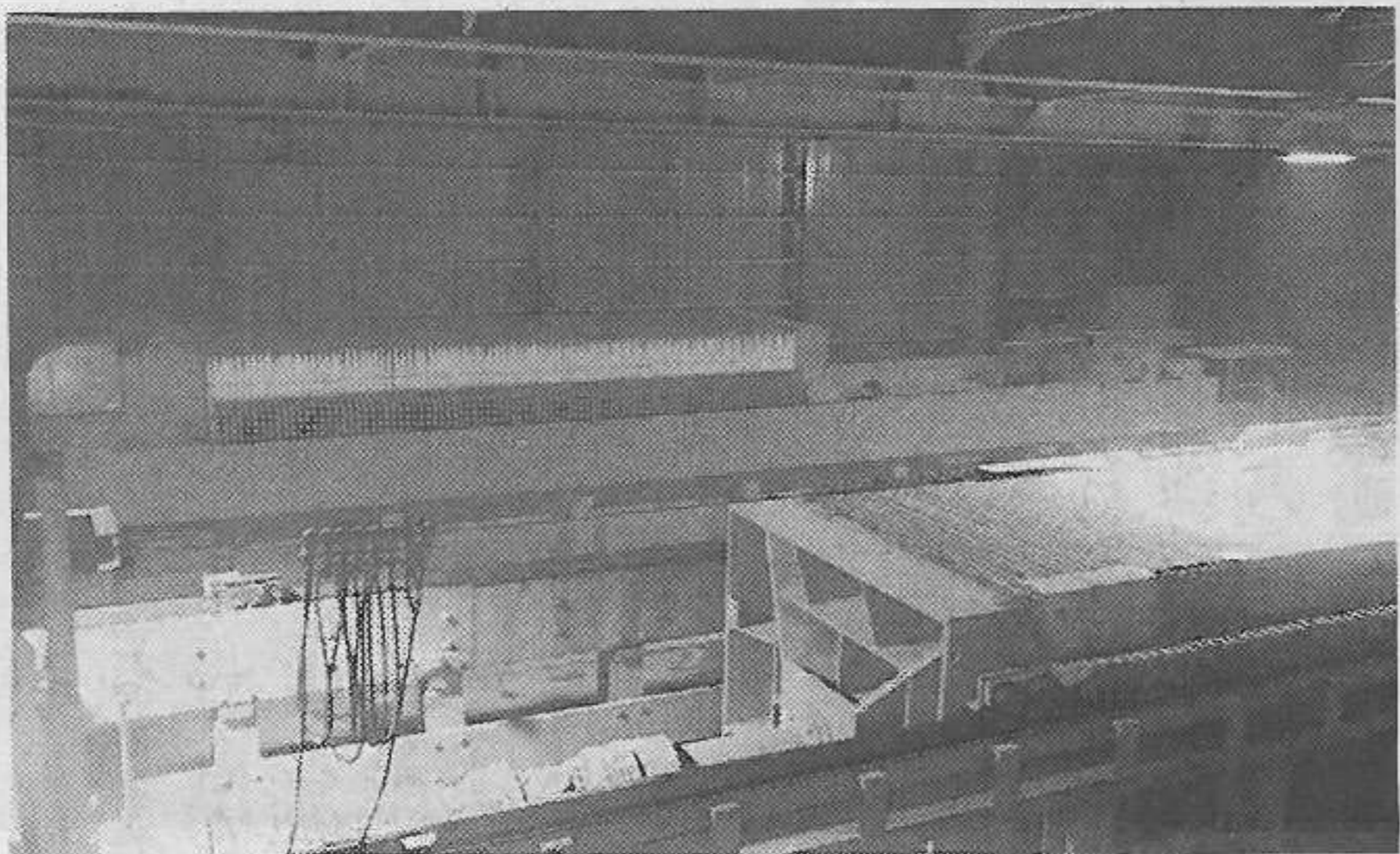
化事業(処理能力・5日)が1220ト/日に上り、国内最大級の施設規模となった。また、高石工場(大阪府高石市)で進めていた汚染土壌の処理能

力(720ト/日、天日乾燥で45・6立方メートル)が1220ト/日

となり、国内最大級の施設規模となった。また、高石工場(大阪府高石市)で進めていた汚染土壌の処理能

力(720ト/日、天日乾燥で45・6立方メートル)が1220ト/日となり、国内最大級の施設規模となった。また、高石工場(大阪府高石市)で進めていた汚染土壌の処理能

力の増強も完成し、国内最大級の能力を持つ汚染土壌処理施設として、全国の処理ニーズに対応していく。ニ崎工場は、事務所棟、受入ピット、製品ヤードなどで構成。汚泥の処理能力は造粒固化で720ト/日、天日乾燥で45・6立方メートルとなり、国内最大級の施設規模となった。また、併設されている汚染土壌処理施設では、872ト/日の処理能力を有し、高石工場とともに処理を行っている。高石工場は、事務所棟、受入ヤード、洗浄処理施設、保管ヤードなどから構成され、入荷のための専用岸壁を有し、全国からの入荷に対応できる施設となっている。今年8月末に洗浄処理施設の処理能力を1710ト/日まで増強した。同工場の受入可能な土壌は、シアン化合物と水銀およびその化合物を除く、第二種特定有害物質で濃度の上限值なしとなっている。プラントは、大型のコンクリート製を保有する。工場現場から陸上輸送で現地積み替え保管施設に運搬。その後、船舶を用い、海上輸送で高石工場へ。同工場の岸壁で荷揚げされた汚染土壌は、同工場の汚染土壌浄化処理プラント、またニ崎工場へ陸送されニ崎プラントで処理し、洗浄レキ・砂は建設資材やエコ・サンドとして再利用され、シルトは高石工場に集約され海上輸送にてセメント工場にてリサイクルして再資源化する。



施設内のような様子